

末富綾子 公開制作

明倫茶会に先駆け、同会場にて末富綾子による公開制作を行います。

2017年4月20日(木) - 29日(土) 11:00 - 17:00

入場無料・予約不要

以下の日程にてトークを行います。

4月20日(木) 17:00-18:30

吉岡洋×末富綾子

4月22日(土) 17:00-18:30

ゲスト: 吉川左紀子(認知心理学者、京都大学こころの未来研究センター長)

4月25日(火) 17:00-18:30

ゲスト: 中原豊(中原中也記念館館長)

吉岡洋

京都大学文学部・同大学院修了。甲南大学、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)を経て、現在京都大学こころの未来研究センター特定教授。著書に『情報と生命』(新曜社、1993年)、『〈思想〉の現在形』(講談社、1997年)など。京都芸術センター発行の批評雑誌『Diatxt.』(タイアテキスト)1~8号の編集長、「京都ビエンナーレ 2003」の総合ディレクターをつとめた他、「SKIN-DIVE」展(1999)、「京都ビエンナーレ 2003」、「大垣ビエンナーレ 2006」などの展覧会を企画。映像インスタレーション作品「BEACON」プロジェクトチームメンバー。

末富綾子

高校時代、40歳で失明すると宣告されるが、自覚症状はなく美大に進学。86年武蔵野美術大学卒業、88年同大学院修了。卒業制作・修士制作とも首席。フランス政府給費留学生試験に合格し、パリ国立高等美術学校、パリ国立装飾美術学校で絵画、壁画を研究。視力が低下し始めるが、同様に視力低下時に製作したドガやマチス、棟方志功等を研究し、自らの製作方法も変化する。失明後も国内外で作品を発表。近作は宇部市常盤動物園に設置したレリーフ壁画。パソコンで盲人用音声ソフトを利用し『朝日新聞』『点字毎日』にエッセイを執筆・連載してきた。

京都芸術センター KYOTO ART CENTER

〒604-8156

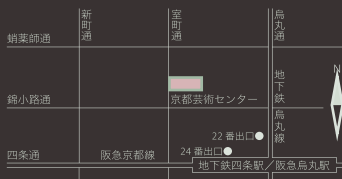
京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2

TEL:075-213-1000 FAX:075-213-1004

URL: <http://www.kac.or.jp>

地下鉄烏丸線「四条駅」、阪急京都線「烏丸駅」
22番・24番出口より徒歩5分。

駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



共通感覚

覚論

友人の画家、末富綾子さんと、明倫茶会「共通感覚論」を催します。趣向は美術と哲学です。

共通感覚というのは、「常識」と訳される英語の「コモンセンス」が元々持っていた意味で、人々に共通の感覚、また五感に共通する感覚を意味します。それは、当たり前ものではありません。

「そんな常識だろ!」と迫るのは、いわば共通感覚を無理強いしていることになります。

それでは、静かにお茶を共にする時には、世界はどんな風になるでしょう?

—吉岡洋

日時 2017年4月30日(日)
11:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00

会場 京都芸術センター ミーティングルーム2
席主 吉岡洋(京都大学こころの未来研究センター)

末富綾子(画家)

内容 煎茶とお菓子
定員 各席20名(要予約・先着順)

料金 1,000円
主催 京都芸術センター

お申込み

京都芸術センターウェブサイト お申込みフォーム(<http://kac.or.jp>)
お電話 (075-213-1000 受付時間: 10時-22時)